

小学部3組（5・6年生） 生活単元学習 学習指導案

山形大学附属特別支援学校

教諭 近藤 真知子

1. 単元名 「しぜんとなかよくしよう～いろいろないきもの～」

2. 単元の目標

- ・ 教師や友達と一緒に身近にある野山や公園で遊ぶ活動を通して、自然の様子や様々な生き物に興味・関心を持ったり、それらの特徴や育つ環境などに気付いたりする。 (知識・技能)
- ・ 体験したことをもとに、自然の様子や生き物、自然を大切にしていくなために必要なことなどについて整理したり、教師や友達と一緒に伝えたい内容を考えたりしながら、自分なりの表現方法で伝える。 (思考・判断・表現)
- ・ 身近な自然や生き物に興味・関心を持って自分から触れ合おうとしたり、体験したことをもとに自然や生き物の特徴を振り返りながら教師や友達と一緒にまとめ、伝えたりしようとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、身近な自然や生き物、その中でも、昆虫や草花について取り上げる。自然と触れ合う機会が減少している中、遊びを通して自然や生き物について興味・関心を持つとともに、自分の身の回りには、いろいろな生き物がいることに気付くことができる単元であると考える。

ハッチョウトンボやトキソウ等の希少動植物について取り上げることで、それらの特徴や生息地である湿原、里山について関心を持ち、自分の身の回りに生息・生育する生き物はいろいろな生き物や自然と関わり合っていることに気付くことができると考える。また、地域の保護団体や自然博物館の方々とともに体験活動等を行うことで、憧れや自分もやってみたい等の活動に対する意欲を高め、人と積極的にかかわろうとする気持ちを育むことができると考える。

(2) 児童観

本校は、知的障がいのある小学部から高等部までの児童生徒が在籍する特別支援学校である。本学級（小学部3組）は、5年生3名と6年生3名の計6名である。

日常生活の中で、どの児童も自然に触れる機会が少なくなっており、遊びや野外活動等を体験することも減少傾向にある。休み時間においては、外遊びを行う児童はいるものの、自分から自然と触れ合いながら遊ぶ姿はあまり見られない。日々の学習や休み時間等において、教師も一緒に遊んだり、様々な活動をしたりする中で、昆虫や草花等に目を向けるようになってきた。

これまでの発表会等の活動では、教師が児童の発言に問い掛けをすることで、やりたいことや必要な物について考え、自分の得意なことや好きなことを選ぶことができるようになってきた。また、自分の考えをイラストや文字、身振りなど自分なりの表現方法で伝える活動にも意欲的に取り組むようになってきた。一人一人の実態に応じたやり取りを重ねる中で、自分が考えたことや感じたことを言葉や身振りで相手に伝えようとする姿が増えてきた。

(3) 指導観

本単元では、身近な自然の中で遊ぶこと、自然豊かな公園や野山などへの校外学習の際に自然に親しむ活動を通して、身近な自然や生き物への興味・関心を高められるようにする。また、体験を通して、見たことや感じたことなどを友達や教師と一緒にまとめたり、伝えたりする経験を繰り返すことで、身の回りにある自然や生き物に主体的に関わろうとする意欲や態度を育てたい。

単元前半の校外学習では、近隣にある希少動植物が生息する公園に出掛ける。自然環境を知り、生息する生き物がいることやその特徴に気付くことができるように、遊びや生き物探し、ハッチョウトンボやトキソウ等の観察を行う。観察の際、保護団体の方から実際の取組や自然環境について話を聞く。身近にある公園だからこそ、自然により親しみを感じ、希少動植物や自然環境、さらには地域の保護団体の取組等に興味・関心を持つことにつなげられるようにしたい。振り返りの活動では、映像等を活用し、興味・関心を持った場所や生き物、気になったことをイラストや文章など自分なりのやり方でまとめ、自身の気付きや考えを深められるようにしたい。

単元の中盤には、「自分たちが見つけた虫や草花が元気に生きているのはどうしてだろう」という問いを投げ掛ける。そして、これまで自分たちがまとめたことや情報機器を活用した情報収集、県立自然博物館の方の出前講座、保護団体の方とのやり取りを通して、生息する生き物や植物の特徴、自然環境等について自分の考えを持って主体的に課題に向かえるようにしたい。

単元後半には、「自然や生き物がこれからも元気に生きていくために、自分たちができることは何か」という問いを投げ掛けることで、これまで以上に自然の大切さを感じながら遊びに向かうことが期待できる。また、校外学習先の公園の素晴らしさを市民の方に発信したり、保護団体の方とともにボランティア活動を行う計画をしたりするなど、児童それぞれが自分の行動について考えられるようにしたい。

単元の最後では、「しぜんとなかよし！わたしのともだちは〇〇〇さん」というテーマのもと、これまでの学習を通して、自分の身の回りにある自然を見つめ直し、興味・関心を持った生き物やその特徴、育つ環境などの気付いたことや分かったことを伝える場として発表会を設定する。様々な生き物がいることや環境の現状、自然や生き物・植物と仲良く生きていくためにはどのような環境が必要なのか、自分たちができることを考え、多くの方に伝えられるようにしたい。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

【多様性】自分の身の回りには、いろいろな生き物がいるということ。

【相互性】自分の身の回りに生息・生育する生き物はいろいろな生き物や自然と関わり合って生きていること。

【責任性】自然を守ることの大切さを知り、そのために必要なことは何か、一人一人が生活の中でできることは何かなどを考えて行動していくこと。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

【クリティカルシンキング】生息・生育する生き物や自然環境について興味・関心を持ち（気付き）、自分の身の回りにある自然を見つめ直す。

【長期的思考力】自然や生き物・植物と仲良く生きていくためにはどのような環境が必要なのか、私たちの行動（生活）が今後の地球環境にどう影響するか考える。

【コミュニケーション力】生息・生育する生き物や植物の特徴、自然環境等について、いろいろな方とのやり取りを通して自分の考えを持ち、それらをまとめて伝える。

・ 本学習で変容を促すE S Dの価値観

【自然環境、生態系の保全を重視する】様々な生き物がいることや環境の現状を知るとともに、生き物同士のつながりに気づき、それらに必要なことや自分ができることを考えていくことが大切である。

・ 達成が期待されるSDGs

【目標11】住み続けられるまちづくり

【目標15】陸の豊かさも守ろう

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①自然の様子や様々な生き物に興味・関心を持ったり、それらの特徴や育つ環境などに気付いたりしている。	①体験したことをもとに、自然の様子や生き物、自然を大切にしていくために必要なことなどについて整理することができる。 ②教師や友達と一緒に伝えたい内容を考えながら、自分なりの表現方法で伝えている。	①身近な自然や生き物に興味・関心を持って自分から触れ合おうとしている。 ②体験したことをもとに、自然や生き物の特徴を振り返りながら教師や友達と一緒にまとめ、伝えようとしている。

5. 単元の指導計画（全15時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1 ①	○宿泊学習（校外学習）の振り返りをしよう。 ・場所や生息する生き物（特徴含む）等について気付いたことを伝え合う。	・振り返る手掛かりになるように、学習活動時の動画や写真を提示する。 ・友達の考えから気づきや考えを広げられるように、挙げた意見を視覚的に分かりやすく提示する。	△ア① △ウ②
2 ⑤	わたしたちの近くにある自然はどんなところ？どんな生き物たちが住んでいるのかな？ ○校外学習 ※午前中（西山ふるさと公園を計画） ・遊んだり、生き物探しをしたりする。 ・保護団体の方とハッチョウトンボ観察等を行う。	・写真や動画を自由に記録できるように、タブレット型端末等を用意する。 ・自然環境について理解しやすいように、公園内を散策したり、草木に触れたりしながら話を聞く。 ・保護団体の取組に興味を持てるように、児童らが取り組める内容についても取り上げてもらう。	△ア① △ウ①

2 ⑤	<p>○校外学習の振り返りをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気に入った場所や見つけた生き物、気になったことを整理し、伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやり方で整理できるように、絵や文章など様々な表現方法を選択できるようにする。 ・友達の考えから気づきや考えを広げられるように、挙げた意見を視覚的に分かりやすく提示する。 	<p>△ア① △ウ②</p>
3 ③	<p>わたしたちが見つけた虫や草花が元気に生きているのはどうしてだろう？</p> <p>○調べよう、聞いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの校外学習の振り返りから関連する内容を整理し、気付いたことや分かったことをまとめ、伝え合う（タブレット型端末等の活用を含む）。 ・出前講座（県立自然博物館）の実施や保護団体の方から疑問等を聞く。（対面・オンライン等は検討） ・校外学習先の地域の方に聞く。（対面・オンライン等は検討） <p>自然や生き物がこれからも元気に生きていくために、わたしたちができることはなんだろう？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理しやすいように、項目やキーワード（イラスト等含む）が記載されたプリント教材を用意する。 ・児童が理解しやすいように、出前講座や保護団体の方、地域の方には教師が事前に疑問等を伝えておく。（キーワードや分かりやすい内容で答えてもらう） ・友達の考えから気づきや考えを広げられるように、挙げた意見を視覚的に分かりやすく提示する。 ・児童の実態に応じて、やり取りをしながらまとめたり、内容を補足説明したりする。 	<p>△イ① △イ② △ウ②</p>
4 ①	<p>○わたしたちができることを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、自分の考えを伝え合う。 ・発表会の内容を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えをまとめやすいように、これまでの学習で作成したプリントや写真等を用意する。 ・友達の考えから気づきや考えを広げられるように、挙げた意見を視覚的に分かりやすく提示する。 	<p>△イ① △イ② △ウ②</p>
5 ⑤	<p>○発表会に向けて準備をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表内容や発表方法を考える。 ・案内状作りを行う。 <hr/> <p>○発表会をしよう。</p> <p>「しぜんとなかよし！ わたしのともだちは○○○さん」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心を持った生き物やそれらの特徴、育つ環境などの気付いたこと分かったことを発表する。 ・感想アンケートを配付する。（後日、集約して掲示する。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやり方でまとめや発表ができるように、様々な方法を用意する。 ・児童の実態に応じて、やり取りをしながらまとめる。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲が高まるように、保護団体や県立博物館の方を発表会へ招待する。 ・自分たちの発表について振り返ることができるように、参加者へアンケートを配付する。 	<p>△イ① △イ② △ウ②</p> <hr/> <p>△イ② △ウ②</p>